平成22年度小学校学習状況調査　第５学年　理科　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点 科学的な思考	技能表現	知識理解
第４学年の内容	B 物質とエネルギー	(1)ア	・容器を使って空気や水の力の変化を調べたり，ものづくりをしたりすることができる。	(1		○	
		(1)イ	・空気や水のかさや圧し返す力の変化によって起こる現象とそれぞれの現象を関係付けて考えることができる。	(2	○		
		(2)ア	・水及び空気は，温めたり冷やしたりすると，そのかさが変わることを理解している。	(3			○
		(2)ア	・物の体積変化や物の性質と温度変化を関係付けて考えることができる。	(4	○		
		(2)ア	・物の体積変化や物の性質と温度変化を関係付けて考え，変化に関係する要因をとらえながら問題を解決することができる。	(5	○		
		(2)イ	・金属及び水を熱したときの様子を比較して，物による温まり方の違いを考えることができる。	(6	○		
		(2)イ	・加熱器具などを安全に操作し，金属，水及び空気の体積変化や温まり方の特徴を調べることができる。	(7		○	
		(2)イ	・水や空気は熱せられた部分が移動して全体が温まることを理解している。	(8			○
	C 地球と宇宙	(2)ア	・水の状態変化を調べ，記録したり，表やグラフなどに表したりすることができる。	(9		○	
		(2)イ	・水の状態変化と名称について理解している。	(11			○
第５学年の内容	A 生物とその環境	(1)イ	・種子の発芽について，条件に着目して実験の計画を考えることができる。	(13		○	
		(1)イ	・種子の発芽について，実験の結果を条件に着目して考察することができる。	(14	○		
		(2)イ	・人が母体内で成長していく様子を，映像資料や模型などを活用して計画的に調べ，まとめることができる。	(15		○	
		(2)イ	・人は,母体内で成長して生まれることを理解している。	(16			○
		(2)ア	・魚には雌雄があり，生まれた卵は日がたつにつれて中の様子が変化してかえることを理解している。	(17			○
		(1)エ	・顕微鏡などを適切に操作して観察することができる。	(19		○	
	C 地球と宇宙	(1)ア	・いろいろな天気と１日の気温の変化の関係を考察することができる。	(12	○		
		(1)イ	・気象情報を利用して天気の変化を予想することができる。	(20	○		

移行・追加された内容　（領域及び内容は，新学習指導要領に対応している。）

第４学年	A 物質・エネルギー	(2)ウ	・水が氷になると体積が増えることを理解している。	(10			○
第５学年	B 生命・地球	(2)イ	・魚は，水中の小さな生物を食べ物にして生きていることを理解している。	(18			○